

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
---------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	業務全般について, 公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。特に指定管理事業では, 施設活性化を一層図り, 利用料金収入の増加を目指す。
財務面	平成27年度以降は京都市からの事業補助金が廃止されることを前提に, 事業収益や寄附金の増収, 経費の節減, 公益法人の優遇税制の活用により, 公益目的事業の基盤を確保, 強化する。
組織面	平成26年度現在1名となっている京都市からの派遣職員(常勤役員兼務)を平成26年度末に廃止するため, 固有職員の人材育成を進め, 京都市との連携態勢を築く。
その他	京都の「緑の文化」の発信等の事業について, 緑化関連団体, 大学, 企業, 市民団体, 地域団体, マスコミ等の団体との連携・協力関係を一層広げる。

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1 「公園施設の利用拡大」

取組内容	平成27年に開園20周年を迎える梅小路公園においては、京都の緑の文化を発信する季節感に富むイベントの実施、京都水族館や平成28年開業予定の京都鉄道博物館等公園施設との連携、及び近隣ホテル等への積極的な営業活動により、利用者数を増やす。 宝が池公園子どもの楽園においては、平日に家族連れが滞在しやすい場所づくり等により、利用者数を増やす。					
○指標1	梅小路公園朱雀の庭・いのちの森入園料及び貸室利用料金の合計額					
採用理由	公園の活性化を示す指標であり、当協会収入でもあるため					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	6,530	6,500	7,500	10,000	12,000	
実現方法	梅小路公園開園20周年事業、和の花展や他施設との連携による庭・いのちの森の充実、営業時間外のライトアップ等イベントの実施を行う。					
○指標2	宝が池公園子どもの楽園駐車場の利用料金					
採用理由	公園の活性化を示す指標であり、当協会収入でもあるため					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	16,580	17,500	17,000	17,500	18,000	
実現方法	遠足等を除き平日に利用が少ないことが課題であったが、平日のイベント開催等、家族連れが滞在しやすい場所づくり、周辺施設との連携を行うことにより、遠方からの来園者数、駐車場利用件数を増やす。					

目標2 「公益目的事業の効果・効率性の向上」

取組内容	公益目的事業の自律的な運営のためには、公益性を確保しつつも合理化と収益性の向上を図る必要があることから、年間100回を超えている緑化関連講習会等について実施内容を見直し、効果的・効率的な実施を図る。					
○指標	緑化関連講習会等の1回当たり参加者数					
採用理由	講習会等を持続的に開催できるよう、効果・効率性を図るため					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人/回)
	19.4	20.4	22.5	24.0	25.0	
実現方法	既存講習会・教室のテーマ、回数、参加費、周知方法等を再検討し、参加者の新規開拓等の改善により、各回の効果・効率性を高める。					

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
---------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標1「京都市からの補助金に頼らない運営」						
取組内容	京都市からの事業補助金は、平成27年度以降は廃止されることになる。これに対応して、イベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、その他受託事業、収益事業は新規事業を含めた収益拡大に取り組む。これらを通じて、京都市補助金はなくとも、幅広い市民・団体向けの公益目的事業を推進する財源を確立する。					
○指標	京都市からの補助金額					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	27,084	26,334	0	0	0	

目標2「公益目的事業の水準の確保」						
取組内容	各種事業や寄附金の増収、経費の節減、及び公益法人の優遇税制の活用により、公益目的事業の水準を確保する。					
○指標	公益目的事業比率					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：%)
	69.2	68.0	63.0	63.0	63.0	

(3)組織に関する取組

目標「京都市からの派遣職員受入れの廃止と固有職員の育成」						
取組内容	京都市派遣職員の受入れを平成26年度末に廃止したうえで、京都市と連携しつつ自律的に事業を推進するため、派遣職員の役割を引き継ぐ人材、専門的スキルを持った人材等の育成又は採用を行う。					
○指標	京都市からの職員派遣受入れ人数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	1	1	0	0	0	

(4)その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」						
取組内容	都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信、京都ゆかりの希少な植物（和の花）とその生息環境の保全、その他公園緑地の価値を高める各種事業において、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。					
○指標	当協会が主体となる事業で連携・協力する団体数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：団体)
	95	115	130	140	150	